

長野の林業

令和3年2月10日発行
長野の林業編集委員会

No.373

もくじ



森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業の活用	1
特集 令和2年度長野ふるさと森林づくり賞	2
普及事業70周年特集	3
トピックス	6
狩猟解禁／なっとく！森林経営管理制度	6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



まつたけ発生環境整備を実施した様子
伊那市「福地松茸増産の会」



竹林整備を実施した様子
売木村他「水源域竹林整備組合 水源守」



間伐材を搬出している様子
松川村「北安曇きこりクラブ」



風倒木の処理と間伐を実施した様子
長野市「市民の森ながの」

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を活用して、今年度も地域住民、森林所有者、NPO法人、民間団体等からなる33団体が、除間伐、まつたけ発生環境整備、荒廃竹林の整備等の様々な活動に取り組み、地域の力によって里山の森林整備や資源の利活用が進められました。

令和2年度長野県ふるさとの森林づくり賞の受賞者が決定しました

本県の森林・林業の振興に貢献され、優れた実績をあげられた方の功績を称える「長野県ふるさとの森林づくり賞」の受賞者が決定しました。例年、長野市内で表彰式を開催していましたが、今年度は推薦のあった地域単位で賞状の交付を行います。

今年度のふるさとの森林づくり大賞は、野村弘様(木曾郡上松町)が受賞されました。野村弘様は、長年、ユーザー視点に立った良質な県産材製品の製造を行うとともに、平成24年から令和2年まで木曾官材市売協同組合の理事長を務め、木曾ヒノキをはじめとする県産材の魅力の全国への発信や、県内のサプライチェーンセンターへの積極的な参画など、県産材の生産流通の中心を担い、地域の経済発展にも大きく貢献されました。

この他に長野県知事賞として、佐久市大沢財産区と「森林の里親協定」を締結し森林整備支援を11年にわたり取り組んでこられたソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社様(東京都品川区)、上伊那林業士会長として長年にわたり上伊那地域及び長野県全体の林業後継者の育成に取り組んでこられた川島潤一様(伊那市)、70余年にわたって「経木」の生産を継続して取り組んでこられた山岸公一様(長野市)、地域の森林整備や林地残材を利活用しての薪づくり、技術講習会等に取り組んでこられた伊那市西箕輪薪の会様(伊那市)が受賞されるなど13の個人・団体が受賞されました。受賞された皆様、おめでとうございます。

受賞者の皆様が、この受賞を契機として、益々ご活躍することをお祈り申し上げます。

なお、受賞された皆様は下記のとおりです。(敬称略)

賞名	受賞者名	所在地
ふるさとの森林づくり大賞	野村 弘	木曾郡上松町

【森林づくり推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	東京都品川区
長野県緑の基金理事長賞	一般社団法人 塩尻市森林公社	塩尻市
長野県森林組合連合会長賞	山中 光雄	南佐久郡川上村
長野県林業普及協会会長賞	北真志野里山整備利用推進協議会	諏訪市
長野県猟友会長賞	山田 興平	木曾郡南木曾町

【森林環境教育推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	川島 潤一	伊那市
長野県教育委員会賞	飯田市立竜丘小学校	飯田市
長野県緑の基金理事長賞	ブッポウソウの里の会	上伊那郡中川村

【信州の木利用推進の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	山岸 公一	長野市
長野県木材協同組合連合会理事長賞	株式会社 やまとわ	伊那市
長野県森林組合連合会長賞	ハンガープロジェクト運営委員会	下伊那郡天龍村

【長野県森林づくり県民税活用の部】

賞名	受賞者名	所在地
長野県知事賞	伊那市西箕輪薪の会	伊那市

【森林政策課】

長野県林業普及指導事業70周年記念特集

令和2年に、長野県の林業普及指導事業は創設70周年を迎えました。そこで普及指導事業に関わられた方々から当事業のこれまでの歩みや今後の展望などについて寄稿していただきましたので2月号と3月号にわたり掲載させていただきます。

長野県林業普及指導事業70周年によせて

長野県林務部長 井出英治



林業普及指導事業は、森林の有する多面的機能の発揮と、林業の持続的かつ健全な発展のために、全ての

地域振興局・林業総合センターに林業普及指導員を配置し森林所有者等に対する技術指導や地域の森林整備の促進などの活動を行うものです。

令和2年に、本事業が昭和25年に開始されたから70年の節目を迎えたため、最近の林業

施策と林業普及事業の取組についてご紹介いたします。

戦後、先人たちが守り育ててきた森林資源は着実に増加し、育成を行いながら利用が可能な時期を迎えました。一方で化石燃料の台頭による生活様式等の変化に伴い、木質燃料等の利活用が減少し、里山の森林荒廃も進行しました。また、木材価格の低迷などから、間伐など、喫緊に必要な森林整備が進みづらい状況にありました。

そのような状況の中、本県は平成20年度に「長野県森林づくり県民税」を導入し、里山の森林整備を重点的に推進してまいりました。また、平成23年度には、施業集約化や路

網整備といった持続的な森林経営に必要な条件を確保する目的で、国により森林経営計画制度が創設されました。

こうした森林整備の推進が急務であった時期において、林業普及指導員は積極的に地域に飛び込み、効率よく施業を進めるための森林施業地の団地化や高性能林業機械の導入に注力し、奥山・里山双方の森林整備の推進に奔走してまいりました。この結果、令和元年度までに約3万3千haの里山整備が実施されるとともに、素材生産量は平成22年に293千m³であったものが、令和元年には564千m³と2倍近くまで増加しました。

多くの森林で主伐期を迎えた今、平成30年に持続的な森林経営と適正な森林管理を目的とする森林経営管理制度が創設され、この管理制度を推進するために令和元年に森林環境譲与税の活用がスタートしました。また、ITを活用するスマート林業等の効率的で持続的な林業経営を支える新技術も実用の段階になり、森林・林業の世界は「伐って、使って、植える」という森林資源の循環的な利用と効率的で持続的な林業経営を実現する新しい時代に向かっております。

時代が変わりゆくなかにあっても、林業普及指導員は新しい森林・林業の先駆者として自己研鑽を怠らず、またこれまで以上に地域に溶け込みながら、地域の森林整備の推進や山村地域の活性化のために活動してまいります。

林業普及指導事業創設70年を迎えて

一般社団法人 長野県林業改良普及協会

会長 林 和弘



昭和25年に始まった林業普及指導事業も令和2年で70年を迎えることになりました。当協会

も昭和29年の設立当初より、明るい豊かな山村の建設と、森林及び林業の持つ機能を通して県民の福祉向上に寄与することを目的とし、林業普及指導事業の推進と森林・林業の普及啓発に努めてまいりました。

当協会の主要な事業として、昭和29年の創刊から携わってきた「長野の林業」（創刊時は「林業普及だより」）の編集・発行業務があります。長野県林政の話題や県下各地の優良事例など最新の情報・動向を、林業関係者や市町村及び学校など広く県民に発信し続け、今号で373号を数えます。

創刊号当時の記事は、「秋植え造林」、「秋の苗畑事業」、「野兎鼠の駆除」など造林関係の内容が多く、戦後の林業復興のために当時の林業普及指導員が積極的に地域へ入り込み、熱心に造林技術の普及啓発に努め、森林

の持つ多様な機能の回復、現在今に繋がる森林資源の育成に汗を流していることが伝わってきます。

近年は、地域の皆様が里山の整備等を目的として、森林づくり県民税や森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業等を活用し、森林・林業活動に取り組んでいる様子や、森林経営管理制度・スマート林業などの新たな制度、新しい林業技術の情報など、先人たちが守り育ててきた森林資源を適切に、かつ効果的・効率的に活用するための投稿が増えており、創刊から60年以上経過し林業を取り巻く状況が変化していることを感じています。

長野県が目指すゼロカーボン社会構築のための森林の適切な管理・利活用、森林経営管理制度による市町村の森林経営の参画等、これまで以上に林業普及指導事業の果たす役割は多様化していくでしょう。

林業普及指導員は、よりいっそう地域の声に耳を傾け、寄り添い、溶け込みながら、地域の森林・林業を発展させていたいただきたいと大いに期待しております。当協会も微力ながら今後も林業普及指導事業を支援させていただきます所存です。

長野の林業は誌面の充実を図るため令和3年度から隔月発行となります

- ・発行月 5月 7月 9月 11月 1月 3月の奇数月発行
- ・ページ数 12ページ～18ページ
- ・表紙をカラー化
- ・長野県HP、長野県森林組合連合会HPにカラー版をリンク

林業改良普及事業70周年に思う

全国普及懇話会長 長野県支部長 高野 弑 夫



昨年来、全世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るい経済活動など大変厳しい状況にある。林業も木材生産の集荷制限など大きな影響を受けている。林業改良普及事業の70年を大雑把に振り返ってみると、普及事業が始まった昭和20～30年代は戦後の荒廃山林の復興のための苗木の生産・植栽指導。40～50年代は保育間伐や枝打ちの優良材生産など森林保育指導。そして平成に入り森林資源が徐々に成熟すると森林資源の有効活用を目指し、高性能林業機械の導入や作業路網の整備による搬出間伐の推進。そして、機械化・路網整備に適した列状間伐を積極的に普及指導し木材生産量も増加してきた。平成15年頃からは合板需要により今まで見向きもされなかった

カラマツの時代が到来し、バイオマスなどにより木材生産量は一層増加傾向にあるが、一方木材価格は平成初期に比べ、スギは約3分の1、カラマツは約半分と大きく下落した。しかしながら、このような価格の下落にもかかわらず木材生産がなされているのは、林業機械化によるコスト軽減に他ならない。このように振り返ってみると林業改良普及活動は、森林の成熟とともにその時代に必要普及指導を行ってきた。

誠に残念な事ではあるが、大北地域の不祥事この方、林業改良普及活動の姿がなかなか見えないように感じられる。失われた信頼を回復す



るために適切な検査をすること、重要な事ではあるが、ほかに何をしたらか。

木材価格は低迷し機械化によるコストの軽減は限界にある。これをどうクリアするか。機械の



効率的な活用には、施業地の集約化・団地化が何よりも重要であるが大変な作業である。「やって見せ、言ってみせて・・・」と「やってみせ、言ってみせて・・・」と「具体的に動いてみよう。具体的に動けば具体的な答えが・・・」自らが火中に飛び込み、率先して集約化の模範を示す普及活動を大いに期待したい。



森林経営管理制度

その9

「新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」などの疑問に森林経営管理支援センターがお答えします」

Q 市町村が森林の経営管理を再委託する「意欲と能力のある林業経営者」について教えてください。

A 経営管理集積計画を策定し公告・縦覧することにより、市町村は対象森林の経営管理権を取

得することができます。経営管理権を取得した森林のうち、林業経営に適した森林については、「意欲と能力のある林業経営者」に再委託することにより、行政コストの低減や木材生産等の拡大による林業の成長産業化にも資することができます。

「意欲と能力のある林業経営者」については、県で定めた認定基準（左記参照）に基づき林業事業者を公募して、市町村からの推薦を経て登録・公表しています。また、県が定めた基準の一部を満たしている事業者を「意欲と能力のある林業経営者」と育成する事業体（育成経営体）として登録・公表しています。

意欲と能力のある林業経営者の基準

- 1 効率的かつ安定的な経営管理の基準
 - (1) 生産量の増加又は生産性の向上
 - (2) 生産管理又は流通合理化等
 - (3) 造林・保育の省力化・低コスト化
 - (4) 主伐後の再造林の確保
 - (5) 生産や造林・保育の実施体制の確保
 - (6) 伐採・造林に関する行動規範の策定等
 - (7) 雇用管理の改善及び労働安全対策
 - (8) コンプライアンスの確保
 - (9) 常勤役員の設置
- 2 経理的な基礎基準

直近事業年度の経理状況等

意欲と能力のある林業経営者、育成経営体の登録・公表状況 (令和3年1月末時点)

区分	佐久	上田	諏訪	伊那	南信州	木曾	松本	北ア	長野	北信	計
意欲と能力のある林業経営者	8	2	7	4	3	7	3	2	4	2	42
森林組合	4	1	1	1	1	3	1	1	1	2	16
民間事業体	4	1	6	3	2	4	2	1	3	0	26
育成経営体	10	3	2	4	5	5	6	5	2	0	45
森林組合	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
民間事業体	10	3	2	4	3	5	6	5	2	0	43

数値は各地域に事務所が所在する事業体数

森林経営管理制度に関するお問合せは
 長野県林務部森林政策課森林経営管理支援センター
 電話 026-226-2504(直通)
 E-mail: shinrin-kanri@pref.nagano.lg.jp

災害に備える森林保険

冬の積雪による幹折れや雨氷害、春先の森林火災が心配…
 森林保険に加入しておけば安心です！

※平成31年4月より森林保険の保険料率見直し等の改定が行われました。



[長野県 1ha当たりの代表例] 樹種毎の標準的な保険金額と保険料（保険期間：平成31年4月1日～）

契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1年	80万円	3,432円	20,296円	101万円	4,332円	27,444円
2	92	3,946	割引額 2,439円	119	5,105	割引額 3,356円
3	108	4,633		144	6,177	
4	119	5,105	割引額 2,848円	166	7,121	割引額 4,810円
5	131	5,619		188	8,065	
26	177	5,699	25,647	299	9,627	43,325
27	177	5,699	割引額	299	9,627	
28	177	5,699		割引額	299	9,627
29	177	5,699	割引額		299	9,627
30	177	5,699		299	9,627	9,627



保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。
 保険加入契約は、1年毎よりも割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です！

【問い合わせ先：長野県森林組合連合会(TEL 026-226-2504)、またはお近くの各森林組合へ】
 <長野県林務部森林づくり推進課>



森林組合系統を知ろう！前編

森林組合のしくみとしごと



森林組合は、各地域単位の森林組合と、各都道府県単位の森林組合連合会、そして全国の組合・連合会を取りまとめる全国森林組合連合会で3段階の系統組織を構成しています。

森林組合は、平成30年度末時点で全国に617組合あり、組合員は150万人（組合員所有森林面積は1055万ha）にも及びます。

長野県では、県内各地域に根ざした18の森林組合が、地域の森林の保全や、林業に関わる事業等を、森林所有者と共同で行っています。

今回は、「森林組合系統を知ろう！」前編ということで、森林組合の仕組みや仕事について、ご紹介していきます。

（後編（3月号）では、森林組合連合会についてご紹介する予定です。）



森林組合とは？

森林組合は、「森林組合法」に基づいて、森林所有者を組合員とした協同組織です。設立の目的は、「森林所有者の経済的社会的地位の向上」、「森林の持続的養及び森林生産力の増進」を図ること、とされています。

森林組合の管理運営や、組合員の権利義務については、協同組合原則に従って決められています。任意設立や一人一票制、組合員の加入・脱退の自由等がこれにあたります。

森林組合はいつからあるの？

森林組合が法律上の制度として発足したのは、明治40年のことです。この頃、急速な産業発展により木材需要が激増したため、林業の生産力の発展が求められていました。そのため、民有林について、森林所有者により森林施業などの事業を共同で行うための団体組織として「森林組合」の制度が創設されました。当時の森林組合は、現在とは異なる「任意設立・強制加入（地区内の組合員資格を有する者全員）制」の組合でした。その後何度か制度の改正が行われ、現在のように協同組合的性格を持つようになったのは昭和26年のことです。

森林組合のしごと

森林組合が行う事業は組合員への直接の奉仕をすることを旨としており、その種類は、指導事業（森林経営指導や広報）、森林整備事業（造林や保育等）、利用事業（森林調査等）、購買事業（苗木や資材の販売）、林産事業（素材（丸太）等の生産）、販売事業（素材（丸太）等の販売）、加工事業（加工製品の生産や販売）など法律で決められています。民家や道路等にかかるように枝が張り出してしまった支障木や危険木の伐採等を引き受けている森林組合もあります。

森林組合員になるには？

森林組合は、それぞれ管轄している地域が決まっています。その管轄地域内に、一定の面積以上（組合によって異なります）の森林を所有している個人・法人であれば、組合員となる資格を有していることとなります。（その他詳細は組合の定款による）組合に加入の申込みをし、出資金を払い込むことで組合員となります。組合員は、出口数の多寡に関わらず等しくサービスを受けることができ、所有林の整備だけでなく、組合に山林に関する相談ができたり、事業や購買を組合員価格で利用できたりします。

低コスト再造林プロジェクト コウヨウザン植栽中です！

1月29日、全森連と農林中金が進める「低コスト再造林プロジェクト」の試験地にて、根羽村森林組合によるコウヨウザンの植栽作業が行われました。当日は吹雪となり、皆伐が行われた後の試験地には雪が積もっている状態でした。コウヨウザンのコンテナ大苗は植栽時期を選ばないということで、皆伐後すぐに植栽が可能です。植栽作業には、コンテナ苗用植穴堀機「ほるほるくん」が試験的に使用されました。「ほるほるくん」は背負い式の刈払い機のような見た目をしており、先端には螺旋形のドリルが付いています。県内では初めての取組となるため、今後の使用については十分に検討していく必要があります。今回植栽されたコウヨウザンが今後どのように成長していくのか、期待が高まります。

コンテナ苗用植穴堀機
ほるほるくん



県森連 HP は
こちらから！



長野県森連



長野県の木材市況

令和三年二月十日発行 長野の林業通巻三七三号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

電話〇二六(二三七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

第1050回 市況表

(令和3年1月27日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	14,000	12,000	直造材をお願いします。
		直	18~22	16,000	13,000	
		直	24~30	15,000	12,000	
ひのき	4.0	直	14~16	14,500	12,000	直造材をお願いします。
		直	18~22	18,000	13,500	
		直	24~30	16,000	13,000	
ひのき	3.0	元	60	145,000		良材に高値。
	6.0	直	16~22	23,300		相談ください。
すぎ	3.0	直	14~16	10,000	6,000	需要あり。(φ24~38cm)直造材をお願いします。
		直	18~22	8,000	6,000	
	4.0	込	20上	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
すぎ	4.0	直	30上	14,000	8,000	
		直	30上	14,000	8,000	
さくら	4.0	直	42	40,000		良材に高値。需要あり。
なら	4.0	込	14~52	25,000	12,000	
くり	4.0	直	42	80,000		
		直	18~32	33,000	18,000	
かま	4.0	直	38上	15,000	12,000	需要あり。良材に限り高値。
		直	18~36	13,000	10,000	
からまつ	4.0	込	18上	14,000	13,500	保合を維持。

出品量 1,383㎡ 販売量 1,383㎡ 落札率 100.0% 買い方 37社

出品にご協力いただきありがとうございました。今回の市売りでは、針葉樹、広葉樹ともに応札活発で、強気配が続いております。特に針葉樹(杉材、赤松材)に需要がありますので、伐採される方は当センターへご連絡ください。出材には合法認定業者の登録をお願いしますとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
(*安全のため荷下ろし、積み込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくお願いします。)

第1052回 市況表

(令和3年1月28日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	11,000	7,000	価格横ばい。荷動きあり。
		直	20~28	12,000	9,000	
ひのき	3.0	直	20上	17,000	12,000	柱、土台取り安定した需要。 30上直材引き合いあり。
		直	18~28	17,000	13,000	
		直	30上	21,000	14,000	
ひのき	4.0	直	48	121,000		良材に高値。
		直	6~13	12,000	8,000	
		直	14~18	12,000	9,000	
		直	20上	14,500	13,000	
からまつ	4.0	直	20上	14,500	13,000	価格横ばい。合板・土木向け細物荷動きあり。
		曲	14~18	11,000	9,000	
からまつ	4.0	曲	20~40	12,000	11,000	
		曲	20~40	12,000	11,000	
かま	2.0~7.0	込	26~50	31,000	10,000	需要期、引き合いあり。良材に高値。
くり	2.0~8.6	込	20~44	41,000	17,600	
げやき	3.8	一本	56	95,000		
さくら	2.0~3.8	込	20~28	26,600	14,000	良材に高値。応札活発。
なら	2.0~5.0	込	20~34	18,100	13,100	
えんじゆ	2.0~4.0	本一	20~42	42,000	15,000	

出品量 6,100㎡ 販売量 5,621㎡ 落札率 92.1% 買い方 49社

今回も多数のご出荷ありがとうございました。クリ・ナラ・さくら等広葉樹の需要が高い傾向は続いており、ヒノキの良材にも高値が付く、活発な市売となりました。針葉樹合板向けが堅調の他、土木用小径材の引き合いも続きます。アカマツについても建材向けの荷動きが活発です。引き続きの集荷のご協力よろしくお願いたします。
【当連合会は合法木材に取り組んでおります】合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1084回 市況表

(令和3年1月28日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	8,000	
		直	20上	13,000	10,000	
		直	20上	13,000	10,000	
すぎ	4.0	込	8~13	5,500	4,500	需要あり 出品願います。
		直	14~20	12,500	9,000	
		直	22~28	13,500	10,000	需要あり 出品願います。
		直	30上	14,000	11,000	需要あり 出品願います。
からまつ	4.0	曲	14~18	8,000	5,500	合板需要あり。
		曲	20上	9,000	7,000	
		込	6~13	11,000	6,000	杭材需要あり。
		直	14~18	12,000	9,000	
からまつ	4.0	直	20上	16,000	14,000	需要あり 出品願います。
		曲	14~18	8,000	6,000	需要あり。
		曲	20上	14,000	13,000	合板需要あり。
		直	40~50	18,000	14,000	良材に高値
とうひ	4.0	直	18~28	16,000		良材に高値
ほお	4.0	直	30	18,000		
くり	3.0	曲	18~28		9,000	

出品量 1,437㎡ 販売量 1,166㎡ 落札率 81.1% 買い方 29社

今回はスギ・カラマツ・トウヒを中心とした市になり、トウヒの良材に高値がつけました。スギ・カラマツともに需要が高まり、供給が間に合わない状況が続いております。スギ・カラマツを主体として、アカマツ・トウヒ等もご出品くださいますようお願い致します。広葉樹については、品薄であるのと、需要旺盛な事から強気配で値が上昇しています。伐採時期も良く、材の劣化も少ないので、今後も強気配を維持した取引が予想されます。
次回2月17日(水)開催の「広葉樹祭り」においても高値が期待できますので、引き続き広葉樹の出品をよろしくお願致します。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いしますとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントに記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第531回 木材共販市況表

(令和3年1月15日実施)



出品量 800㎡・買い方 15社・落札率 92.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考	
ひのき	3.0	直	14	13,000	12,000	3,360		
		元直	16	15,000	14,000	3,920		
		込	18~24	16,000	15,000	4,200		
		込	26~28	12,000	10,500	2,940		
		込	30上	16,500	13,500	3,780		
		中込	16~22	12,000	11,000	3,080		
	ひのき	4.0	込	24~28	12,000	10,000	2,800	
			込	30上			0	
			元直	16~22	17,500	15,000	4,200	
			元	24~28	22,500	18,500	5,180	
ひのき	4.0	直	30上	28,500	24,500	6,860		
		直	40~			0		
すぎ	3.0	中直	12~14	13,000	9,500	2,660		
		込	16~22	16,000	15,000	4,200		
		込	24~28	16,500	13,500	3,780		
		直	12下	360	300		一本売り	
すぎ	3.0	直	18~22	9,500	8,000	2,240		
		直	24~32	8,500	7,500	2,100		
すぎ	4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100		
		込直	20~22	10,500	8,000	2,240		
		直	24~28	12,500	11,500	3,220		
すぎ	4.0	直	30上	16,500	13,500	3,780		
		直	30上	16,500	13,500	3,780		
からまつ	3.0	込	14~22	4,500	4,000	1,120		
		込	12~14	5,500	5,000	1,400		
		込	16	8,500	6,000	1,680		
		込	18~28	12,500	10,000	2,800		
からまつ	4.0	直	30上	13,500	11,500	3,220		
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120		
		直	12下	320	270		一本売り	
くり	4.0	直	20~26	28,500	21,000	5,880		

総評

ひのきは出荷少なく、応札あるも価格は横ばい。すぎ集荷量少なく応札集中。価格はやや上昇。引き続き出荷の協力をよろしくお願いたします。からまつ引き合いあり価格はやや上昇。